志望校別特訓案内

大学受験

2025 年 9 月～12 月

茗渓塾大学受験部

志望校のレベルを夏から準備する

現在の大学受験は受験生全体の半数以上が推薦型および総合型選抜で大学合格を決めています。ただし、合格発表日において、総合型選抜は 11 月以降、学校推薦型選抜においても 12 月以降と総合型選抜と同様です。総合型・推薦型入試を考えている受験生の皆さんはぜひ「夏期集中特訓」で完璧に準備をして臨む必要があると思います。また、不合格の場合は当然一般選抜で突破しないといけないので受験勉強も並行して行う必要があります。

次に、大学共通テスト対策について受験生が準備することとしては、まずは 8 月中に受験科目の基礎力を定着させること。そして志望校の過去問を解き、今の自分との距離を測り、9 月以降の志望校合格に向けた実践的学習に備えることを強く勧めます。

志望校別特訓ではどのコースも過去問から問題を作成しているので、自然と上の実践的学習の流れが出来あがります。テストを受け、解説を聞き、間違えた問題をもう一度解き直し理解するという勉強のパターンを身につければ飛躍的に成績は上がっていきます。そのきっかけとして志望校別特訓を活用していただければと思います。これまでの教務活動を集約しての少人数指導で実施します。受験直前期の学習ペースの創出と持続に役立て、「合格」を勝ちとってほしいと願っています。

コース

① 東大・国立最上位
② 国公立上位
③ 早慶上智理大
④ GMARCH
⑤ 私立ミドル

日程

9/21,10/12,26,11/23,30,12/14
（全６回日曜日実施）

会場：本八幡教室
時間：14:00～17:30
料金：33,000 円（税込）
※ １１月・１２月・１月分各 11,000 円ずつ請求させていただきます。

志望校別特訓の流れ

STEP 1	＜志望校のレベルをつかむ＞ オリジナルテキストによる授業
STEP 2	＜実戦形式で本番力をつける＞ 実戦テスト演習
STEP 3	＜やり直し＆復習でしっかり定着＞ 添削課題、宿題教材

めいけいの志望校別特訓の特徴①

一般的な志望校別講義は「講義」が主体ですが、
めいけいの志望校別特訓は大きく異なります。

Teaching（授業）

担当講師が重要ポイントの解説を行います。

Training（演習）

入試問題演習（テスト）を時間内に行います。

Coaching（学習指導）

記述式問題は回収の上添削し、必要な知識、考え方を指導します。
答案を見直すことで実力がアップ。

⇒ 講義・演習・添削の有機的な連携！

めいけいの志望校別特訓の特徴②

担当講師は毎年入試時期には、塾生が臨んだ入試問題の添削や正解作成を実施しています。その指導経験を生かし、点差がつきやすいところ、つまずきやすいところをしっかり指導します。

⇒ 先輩塾生の成功や教訓を生かす指導！

＜内容紹介＞

①　東大・国立最上位

対象校：東京大学、東京科学大学、京都大学、旧帝国大医学部　等

授業科目：英語、数学、国語(文)、物理・化学(理)

科目	内容
英語	東大を含む最上位校の英語の問題は、大問の形式にいくつかの傾向やパターンがあります。毎回大問に沿ったテーマを決めて、その問題の傾向を理解し、演習形式で対策を行います。
数学	難問を解くためには、計算力、発想力、論証力が必要です。発想力を養うとともに、パターン化されていない難問に直面したとき、どのようにアプローチしていくか問題演習を通じて学んでいきます。
国語	現代文は、課題文読解の中からどうすれば得点に結びつく記述ができるかを検証、古典は主体判定の読解を軸にどの知識を固めていくことが失点を最小限にするかを実践。
化学	東大特有の長い問題文に対応するには、それを超える問題に取り組むしかありません。2問程度の超難問と、基本チェックを同時に行なっていきます。
物理	毎回３つの分野から１題ずつ問題を演習し、問題の読み方から解答に至るまでのプロセスを解説します。また、記述答案の書き方も指導します。

②　国公立上位

対象校：千葉大・筑波大・東京都立大・埼玉大・東京農工大・電気通信大　等

授業科目：英語、数学(理)、国語(文)

科目	内容
英語	的確な長文読解には、複雑な構文を正確に把握すること、さらに全体の論理構成を的確に把握することが必要です。全体把握を通して各設問に答えていくことがポイントになってきます。長文に関連して聞かれやすい文法知識や、上手な和訳の仕方も学習していきます。
数学	微積分を中心に重要単元を扱います。国公立の数学では意外と典型問題が出題されます。見たことある問題を確実にとれるように解法をしっかり理解して答案作成の練習をすることが重要です。
国語	傍線部説明は、個々に弱点を探すのが実力を伸ばすコツ。読解の方法か、また記述の方法か。志望大学のレベル・傾向に対応できる各自の力の伸ばし方を徹底します。

③　早慶上智理大

対象校：早稲田・慶応・上智・理科大・ICU　等

授業科目：英語、国語(文)、数学(理)

科目	内容
英語	早慶上智大の大問の大半は、極めて文章レベルの高い読解問題です。文法・語法・作文も視野に入れつつ、合格を勝ち取るための方法論を提示していきます。
数学	早慶理科大では受験生が見たことのないような問題がよく出題されますが紐解いていくと必ず出題者の意図・テーマがくっきりと浮かんでくる良問の宝庫です。
現代文	各頻出分野を中心に、各大学学部の傾向を明らかにし、解説授業＆添削の中で各個人が当面する課題・問題の解決を図る。
古文	各大学学部の傾向に沿いつつ、まずしっかり地に足の着いた知識を身に付け、速読即解の注意点をも提示。選択肢の選び方にとどまる「難関」私大古文指導とは一線を画す。

④　ＧＭＡＲＣＨ

対象校：明治・青山・立教・中央・法政・学習院、等

授業科目：英語、国語(文)、数学(理)

科目	内容
英語	MARCH の特色は短時間で分量の多い長文を把握する能力を問うこと。全体の論構成またはパラグラフ要旨を瞬時に把握し、さらに込み入った選択肢を短時間で吟味する技術も伝授していきます。もちろん私大特有の文法事項も網羅。日大等の希望者も歓迎。
数学	最近の入試問題は以前の問題と比べ文章量が長く、普通のレベルの問題も難しく見えてしまう傾向があります。しかし、そのような場合の多くの人は、公式はわかるけど使い方や証明ができないというようにしっかりとした基礎力がついていない場合がほとんどです。頻出問題に多く触れてしっかりとした考え方を定着させます。
現代文	標準的な問題から難問までを含む明治大、極めて紛らわしい選択肢を特徴とする立教大、速読を求められる法政大。その他 MARCH を的確に攻めます。
古文	一口に MARCH レベルといっても、大学によって求められてくるレベルはさまざま。基本確認をしつつ古典の世界を楽しみ、各大学のレベル、傾向に習熟していこう。

⑤　私立ミドルコース（B日程）

対象校：日東駒専、または私立薬学部等

授業科目：英語、国語(文)、数学(理)

科目	内容
英語	日東駒専レベルの英語の入試問題は問題形態や問題のレベル、時間当たりの分量等も以前実施していた共通テストと似ている部分が多くあります。並べかえや適語補充といった頻出の文法問題や、長文のポイント等をしっかりと押さえていきます。
現代文	共通テスト対策を軸に、求められる背景知識や読み方を私大と比較して明らかにしていきます。共通テスト利用で合格を取って、一般入試を有利に進めよう。
古文	共通テストの突破をメインの目標に据えます。基本文法、単語、和歌の復習から、膨大な字数を読みこむ共通テストをクリアするヒントを持って帰りましょう。
数学	どの公式を使い処理していくかの判断力と、正確およびスピーディな計算力が必要となります。テーマごとに分けた基本問題演習の数をこなして定着を図ります。